

重点11 教職員研修の充実

1A 教職員の資質向上（小・中学校）

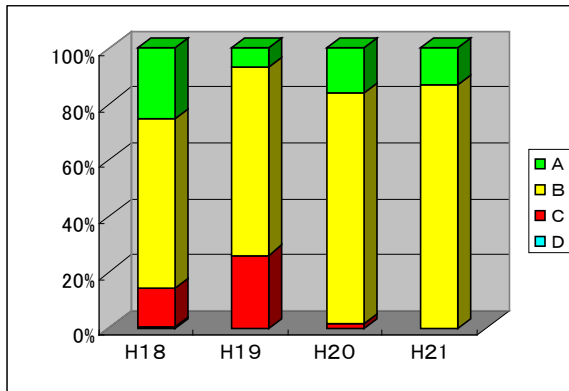
ねらい

様々な教育課題が山積する現在、教職員の資質向上が強く求められています。そのような中、①自己変革をめざし、学び続ける教師、②子どもを育てる厳しさをもつ教師、③子どもに寄り添い、よさや可能性をのばす教師、④絶えず保育・授業改善にはげむ教師が、今も求められる教師の姿と言えます。

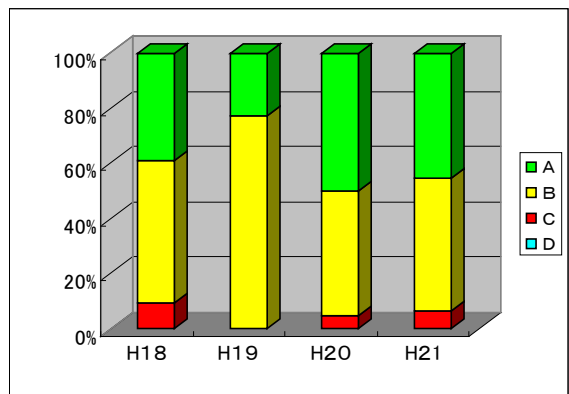
現状と課題

○ 自校の研修に関する各学校の反省

Q 計画的・継続的な研修が実施できたか

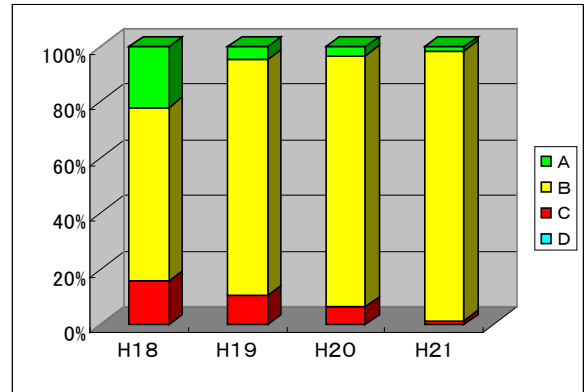


Q 教育力向上のための授業公開の推進はできたか



<市全体：平成21年度>

Q 研修の工夫・改善がされたか



「A」：十分 「B」：おおむね十分  
「C」：やや不十分 「D」：不十分

- ・各学校の反省からは、「十分」「おおむね十分」とする回答がほぼ90%以上となっていますが、全国学力・学習状況調査の結果や生徒指導上の課題から考えると、教員の資質向上に係る校内研修についての「強み」と「弱み」を、より一層明確にしていく必要があります。
- ・新学習指導要領の移行期間内に、各教員にその趣旨を浸透させていくことが、今後の重要な校内研修の課題と言えます。

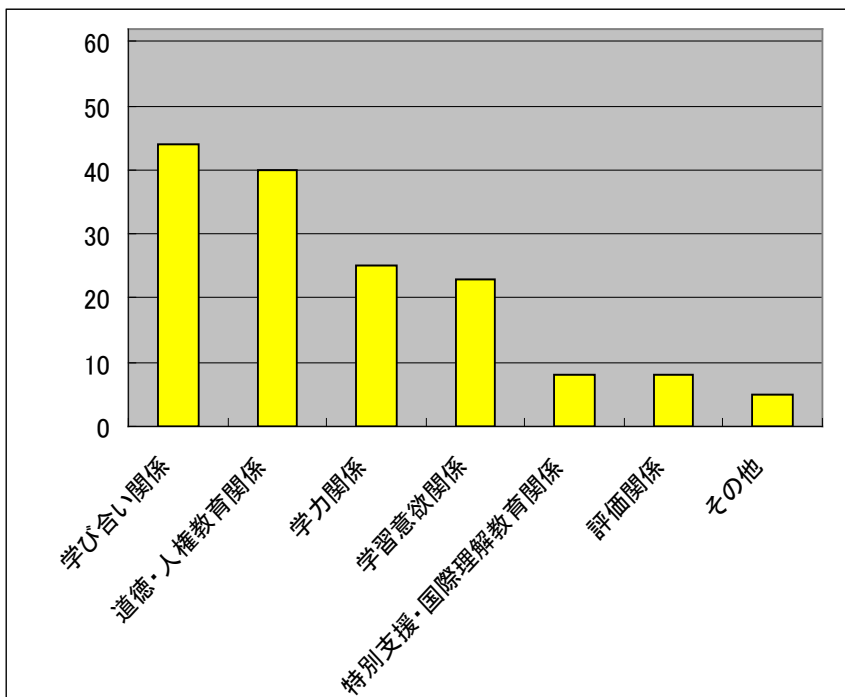
趣旨を浸透させていくことが、今後の重要な校内研修の課題と言えます。

今後の方向性

- 校内研修の改善・充実を図ります。
- 教育センター等の外部研修会への積極的参加を啓発します。
- 学習指導要領の改訂を踏まえ、完全実施（小学校平成23年度，中学校平成24年度）にむけて、移行期間にその内容の定着を図っていきます。

主な取組状況

○ 校内研修の主な内容 <平成21年度 各小中学校の研修主題の類型(延べ校数)>

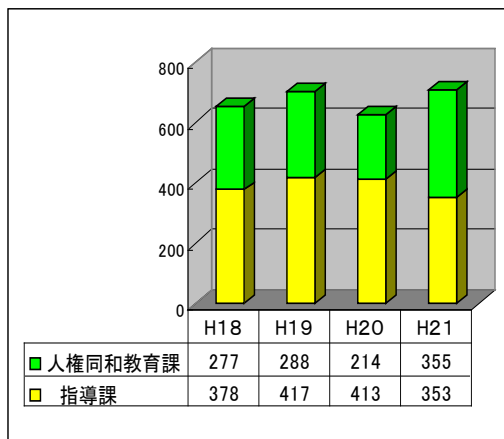


- ・「学び合い関係」は、子どもたちが互いに学び合う中で、コミュニケーション能力の育成や、仲間づくりなどを図る研修を表しています。
- ・「学力関係」は、基礎基本の定着や、思考力や表現力などの育成を図る研修を表しています。
- ・「学習意欲関係」は、課題解決的な学習の研究やキャリア教育など、子どもたちの学習意欲を高める指導方法の工夫や教材の開発を図る研修を表しています。
- ・「その他」には、運動・家庭との連携・生徒指導などの研修が含まれます。

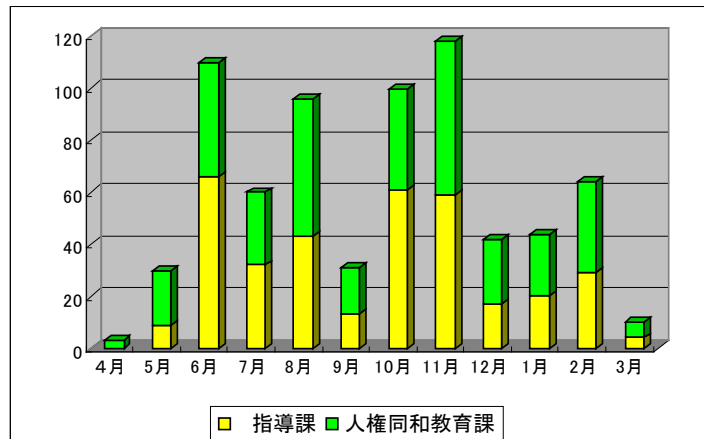
運動・家庭との連携・生徒指導などの研修が含まれます。

○ 校内研修への指導主事の参加回数

<参加回数の推移>



<平成21年度 月間参加回数の推移>



- ・ 指導主事等は、授業研究会や講演会などへの助言や指導のために、各校から要請を受け、訪問しています。研修会では、基礎的基本的な知識・技能の充実や人権教育の推進、日常的な授業改善への工夫など、各校の研究テーマに応じた協議が行われています。
- ・ 特に最近では、小・中学校ともコミュニケーション能力の育成や仲間づくりに関する研修課題が増加していること、生徒指導上の課題が増加していることから、Q-U調査(楽しい学校生活を送るためのアンケート)に関する研修を取り入れている学校が増えています。